

第二復員局公報 第一五九號

昭和二十二年十二月一日(月) 第二復員局文書課

命令 第二

復員局公報

本局(第二復員局)地方復員局(含ム)ノ業務ヲ運輸省及厚生省ニ移管マデシテ、第二復員局(地方復員局ヲ含ム)分課規程ノ臨時特例ヲ次ノヨウニ定メ、コレヲ試行スル。但シ、命課ハ從來ノ分課規程ニ基ク部課ニヨリ變更セザルモノトシ、職名又ハ勤務ノ異ナル者ハ臨時ノ命課トシ、部外トノ交渉等特ニ要スルモノハ從來ノ分課規程ニヨリ職務ノ事項ニ應ズル職名、職印、應印ヲ用ウルモノトスル(部内限リノモノデ職名ニ相當スル官印ナキ者ハ、自己ノ印ヲ用ウル)。

昭和二十二年十二月一日

第二復員局長

第二章 第二復員局(地方復員局ヲ含ム)分課規程ノ臨時特例

第一章 第二復員局

第一條 第二復員局ニ文書課、人事部、經理部、調査部及ビ連絡部ヲ置キ、人事部ニ總務課、人事課及ビ業務課ヲ、經理部ニ主計課及ビ會計課ヲ、調査部ニ資料課及ビ法調課ヲ置ク。
第二條 文書課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。
一 公文書類ノ接受及ビ發送ニ關スル事項

第二復員局公報 第一五九號 昭和二十二年十二月一日

二 第二復員局長ノ官印及ビ局印ノ管守ニ關スル事項
三 局内ノ保安及ビ取締ニ關スル事項
四 部外トノ折衝ニ關スル事項
五 他ノ部、課ノ所掌ニ屬シナイ事項
第三條 總務課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。
一 復員一般ニ關スル事項
二 制度及ビ定員ニ關スル事項
三 人事ニ關スル渉外事項ニ關スル事項
四 人事部内ノ庶務ニ關スル事項
五 殘務處理ニ關スル事項(經理部各課ノ所掌ニ屬スルモノヲ除ク)
第四條 人事課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。
一 人事(任免、補職、増俸)及ビ復員事務ニ關スル事項
二 復員未處理者ノ處理及ビ戰殘者ノ戰殘事項ニ關スル事項
第五條 業務課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。
一 戰歿者及ビ傷病者ノ取扱並ビニ被抑留者ニ關スル事項
二 履歷及ビ諸記録ノ整理及ビ保存ニ關スル事項
第六條 主計課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。
一 豫算及ビ決算ニ關スル事項

二二七

0681

、二 給與及ビ經理ノ規定、監査證明並ビニ關係事項ノ殘務處理ニ關スル事項

第七條 會計課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 收入、支出、給與及ビ契約ニ關スル事項

二 應用物品ノ供給、郵便、電信及ビ電話ノ取扱並ビニ關係事項ノ殘務處理ニ關スル事項

第八條 資料課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 連合軍ノ要求ニ係ル法務關係以外ノ各種資料ノ調製ニ關スル事項

第九條 法調課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 連合軍ノ要求ニ係ル法務關係資料ノ調製ニ關スル事項

第十條 連絡部ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 連合軍及ビ終戰連絡中央事務局トノ連絡及ビ通譯ニ關スル事項

十一 翻譯整理ニ關スル事項

第十一條 各部ニ部長ヲ置ク、復員事務局ヲ以テコレニ充テ、局長ノ命ヲ受ケテ、各部ノ事務ヲ掌ル。

第十二條 各課ニ課長ヲ置ク、復員事務局ヲ以テコレニ充テ、局長又ハ部長ノ命ヲ受ケテ、各課ノ事務ヲ掌ル。

第十三條 文書課及ビ各部ハ廳ニ、文書課長及ビ各部長ハ廳長ニ準ズルモノトスル。

第二章 地方復員局

第十四條 橫須賀地方復員局、吳地方復員局、佐世保地方復員

局及ビ舞鶴地方復員局ニ總務課、人事部及ビ經理部ヲ置ク。前項ノ外上陸地連絡所ヲ置ク、ソノ所屬、名稱及ビ所在地ハ次ノヨウデアル。

| 所屬 | 名稱 | 所在地 |
|----------|-----------|------------|
| 橫須賀地方復員局 | 函館上陸地連絡所 | 函館市 |
| 佐世保地方復員局 | 佐世保上陸地連絡所 | 長崎縣東彼杵郡江上村 |
| 舞鶴地方復員局 | 舞鶴上陸地連絡所 | 舞鶴市 |

第十五條 大阪地方復員局殘務處理部ヲ置ク、大阪地方復員局ノ殘務處理ニ關スル事項ヲ掌ル。

第十六條 總務課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 公文書類ノ接受及ビ發送ニ關スル事項

二 地方復員局長ノ官印及ビ局印ノ管守ニ關スル事項

三 部外トノ折衝ニ關スル事項

四 殘務處理ニ關スル事項（經理部ノ所掌ニ屬スルモノヲ除ク）

五 他ノ部、所ノ所掌ニ屬シナイ事項

第十七條 人事部ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 局内人事並ビニ復員者、死歿者、傷病者及ビ現況不明者ノ處理ニ關スル事項

二 履歷ノ整理及ビ保存ニ關スル事項

第十八條 經理部ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

1899

0682

一 豫算、決算、監査、給與及ビ契約ニ關スル事項
 二 ソノ他會計經理ノ實行ニ關スル事項
 三 會計經理ノ殘務處理ニ關スル事項

第十九條 上陸地連絡所ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。
 一 上陸地ニオケル復員事務(調査ヲ含ム)ニ關スル事項
 第二十條 總務課ニ課長ヲ、各部ニ部長ヲ、上陸地連絡所ニ所長ヲ置テ、復員事務官ヲ以テコレニ充テル、各地方復員局長ノ命ヲ受ケテ、各課、部、所ノ事務ヲ掌ル。

第二十一條 總務課、各部及ビ上陸地連絡所ハ隨ニ、總務課長、各部長及ビ上陸地連絡所長ハ、廳長ニ準ズルモノトスル。

第三章 臨時掃海管船部、臨時管船部、臨時掃海部等
 第一節 臨時掃海管船部
 第二十二條 東京ニ臨時掃海管船部ヲ置テ、第二復員局長ノ管理ニ屬スル。
 臨時掃海管船部ニ掃海監部、總務課、管船課、掃海課、補給課及ビ電信課ヲ置テ。
 第二十三條 掃海監部ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。
 一 連合軍掃海代表トノ連絡ニ關スル事項
 二 掃海ノ計畫及ビ實施ニ關スル事項
 三 掃海關係ノ指導教育ニ關スル事項
 第二十四條 總務課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。
 一 各課事務ノ綜合調整ニ關スル事項
 二 公文書類ノ接受及ビ發送ニ關スル事項

三 部内ノ保安及ビ取締ニ關スル事項
 四 制度及ビ定員ニ關スル事項
 五 部外トノ連絡ニ關スル事項
 六 人事、經理、契約及ビ造修ニ關スル事項
 七 他ノ課ノ所掌ニ屬シナイ事項

第二十五條 管船課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。
 一 保管船艙ニ關スル事項
 第二十六條 掃海課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。
 一 掃海ニ關スル事項
 第二十七條 補給課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。
 一 燃料、需品、被服、糧食、水路圖誌及ビ醫藥品ノ調達及ビ補給並ビニ掃海要具ノ補給ニ關スル事項
 第二十八條 電信課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。
 一 船舶陸上ノ通信ニ關スル事項
 第二十九條 臨時掃海管船部ニ部長ヲ置テ、復員事務官ヲ以テコレニ充テル、第二復員局長ノ命ヲ受ケテ、部務ヲ掌理スル。
 第三十條 掃海監部ニ部長ヲ、各課ニ課長ヲ置テ、臨時掃海管船部長ノ命ヲ受ケテ、各課ノ事務ヲ掌ル。
 第三十一條 臨時掃海管船部、掃海監部及ビ各課ハ廳ニ、各部長及ビ各課長ハ廳長ニ準ズルモノトスル。
 第二節 臨時管船部、臨時掃海部、掃海部等
 第三十二條 横須賀及ビ佐世保ニ臨時管船部ヲ、大阪及ビ吳ニ臨時掃海部ヲ、下關ニ掃海部ヲ置テ、ソノ所屬及ビ名稱並ビニ

第二復員局公報 第一六〇號

昭和二十二年十二月四日(水)
第二復員局文書課 212

令 總

復二第大五四號

元海防艦 鶴 來

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解

昭和二十二年十二月二日

第二復員局長

通 牒

第六番電(昭和二十二年十二月二十五日發電)

發(經理部長)

宛(部内一般)

依給支給日特例等ニ關スル件

- 一 本年十二月分ノ恒例諸給與(食料ヲ除ク)ノ支給日ハ十二月一日ニ繰上ゲラル。(所得税ハ税法ノ改正ニ當リ七月ニ廻リ精算ヲ要スルモ十二月一回ノ給與デハ從來通り控除シホキ控除額ハ精算ヲ了スル迄支用及ビ國庫納付ヲ混合スコト)
- 二 十二月分暫定加給臨時増給ハ「六割」トス(六月十二日第一番電中「四月乃至十一月」トアルヲ「四月乃至十二月」ニ

改メラル)

令 辭

九月三十日發令(復員廳)

二十九號俸ヲ給スル

通各

復員事務官 前田 稔(八)

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

三三五

第二復員局公報 第一六〇號 昭和二十二年十二月四日

0687

十九號俸ヲ給スル

復員事務官

黒岩芳治(シニ三三)

十八號俸ヲ給スル

同

尾中哲夫(シニ三三)

十七號俸ヲ給スル

同

小川敏夫(シニ三三)

通各

同

松井基徳(シニ三三)

十八號俸ヲ給スル

同

阿部克己(シニ三三)

十七號俸ヲ給スル

同

山之内素明(シニ三三)

通各

同

刀根康之輔(シニ三三)

十四號俸ヲ給スル

同

猪股淑郎(シニ三三)

通各

同

山口文夫(シニ三三)

通各

同

西澤直則(シニ三三)

十三號俸ヲ給スル

同

池田卓藏(シニ三三)

同

同

西藤森博(シニ三三)

同

同

佐藤貞三(シニ三三)

同

同

古澤弘太郎(シニ三三)

同

同

坂口信治(シニ三三)

同

同

宮崎英雄(シニ三三)

同

同

同

同

同

同

同

同

同

○事務所

十月二十五日

保管艦 樫、礮、初櫻、樫、樫、掃二十一、奄美、占守、片島、海二〇七、二〇五、八一、八七、

0690

業務調整

第二復員局公報 第一六一號

○令 達

第八五八號

元第九號 輸送艦

右表別紙送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解

昭和二十二年十一月二十八日

第二復員局長

○通 牒

二復員第二號ノ一〇五

昭和二十二年十二月二日

第二復員局人事部長

二各 廳 長 殿

潜在追放者假指定ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通内閣ヨリ通牒ガ發セラレタカラ關係者ニ周知方可然取計ハレタイ。

(別紙第一)

開資第七二三號

昭和二十二年十一月二十九日

第二復員局公報 第一六一號 昭和二十二年十二月九日

昭和二十二年十二月九日(月)
第二復員局文書課

總理廳官房監査課長

各都道府縣知事殿

職業陸海軍職員ノ解釋ニ關スル件

今般標記ノ件ニ關シ別紙通牒ガ發セラレタカラ御了知ノ上爾令右ニヨリ然ルベク措置相成リタイ。

道テ既ニ資格審査済ノ貴省(廳)關係者ニシテ右解釋ニヨリ覺書該當者トシテノ指定ヲ取消シ非該當ノ判定ヲ受クベキモノニ付テハ、中央公職適否審査委員會ニ於イテ再審査ノ上左様措置スルカラ至急審査ヲ受ケテ職及ビ氏名ヲ御報告相成リ度イ。

(別紙第二)

開資第七二三號

昭和二十二年十一月二十九日

内閣官房長官

職業陸海軍職員ノ解釋ニ關スル件

昭和二十二年閣令内務省令第一號別表第一ノ三職業陸海軍職員ノ中2、4及6ノ項目ニ關シ爾今左記解釋ニヨリ審査スルコトニ付天連合軍總司令部ノ了解ヲ得タカラ然ルベク措置セラレタイ。尙從來覺書該當者ト決定セラレタ者ニシテコノ解釋ニヨレ

0691

バ非該當トナルベキモノニ對シテハ審査委員會ニ於イテ再審査ノ上非該當ト決定シテ差支エナイ。右命ニヨリ通牒スル。

記

一 大正九年以前ニ勤務シテ陸海軍軍醫將校デソノ勤務期間ガ短ク軍人トシテノ普通恩給ヲ受ケルニ至ラナカッタ者ハ正規陸海軍將校トシテ取扱ワナイ。

二 昭和十六年十二月八日以降ニオイテ陸海軍ノ委託學生又ハ生徒ニ採用サレ現役將校ニ任ゼラレタ者ハ正規陸海軍將校トシテ取扱ワナイ。

三 大正九年以前ニ勤務シテ憲兵デ特別ノ考慮ニ値スル證據ヲ提出シタ者ハ個人審査デ覺書ニ該當セザル者トナスコトガ出來ル。但シ將校タリシ者ヲ除ク。以上ニ該當スル者ノ英文ハ別紙ノ通りデアル。

a. The military or naval surgeon officers who served only prior to 1921 whose length of service was so short as not making them entitled for the ordinary pension as the military personnel.
b. Persons who had been adopted as the Military or Naval Scholarship Students after 8 December 1941 who have been commissioned as the regular military or naval officers after the completion of their courses as students.
c. Gendarmie who served only prior to 1921, provided, however, with the exception of the commissioned officers and providing they can show their cases deserve special consideration.

(別紙第三)

閣咨第七二四號

昭和二十二年十一月二十九日

内閣官房長官

都道府縣知事宛

正規陸海軍將校特別志願豫備將校及ビ憲兵ノ假指定ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ今般十一月二十八日附官報ヲ以テ假指定ガ行ハレタガ、右ニツイテ十一月十九日別紙總理廳發表ガアツカカラ貴管下ニ趣旨徹底ヲ計リ左記ノ點ヲ充分考慮ノ上異議申立ヲ爲シ得ル者ガソノ機會ヲ失スルコトノナイ様御取計方相成度イ。

記

一 正規陸海軍將校及ビ特別志願豫備將校ハ昭和二十一年内務省令第三十號ニヨリ居住地ノ市町村長ニ、ソノ旨申告シタ者ヲ中心トシテ掲ゲテアルカラ右申告者ハ必ズ官報ヲ見ルコト。

二 總理廳發表ニツイテ

(一) 1. 2. 3. 及ビ 6 ハ從來ニ於テモ覺書ニ該當シナイ者デアアルガ、往々ニ誤ツテ市町村長ニ申告シテキル向モアルヨウデアラカシムノ爲掲ゲタモノデアアルコト。

(二) 4. 5. 及ビ 7 ハ從來ハ覺書該當者タルベキモノデアラツタガ、今回解釋ノ變更ニ依リ新クニ覺書該當者デナクナルモノデアアルコト。

(三) 1. 乃至 7 ニ該當スル者ハ異議申立ニヨリ當然非該當者ト

0692

十一月二十四日發令(第二復員局)
 橫須賀管船部勤務復員事務官 細谷孝至(五二八)
 輸第九號航海長ヲ命ズル
 同 渡邊糾夫(七五五)
 輸第九號乘組ヲ命ズル

十一月二十五日發令(第二復員局)
 舞鶴管船部勤務復員事務官 星子直明(七二四)
 吳地方復員局附兼榮丸乘組ヲ命ズル

兼榮丸乘組ヲ免ズル
 吳地方復員局附兼榮丸乘組復員事務官 大塚米治(三九三)

佐世保管船部勤務復員事務官 今西伸二(六三六)
 舞鶴管船部勤務ヲ命ズル

通名
 同 橫須賀管船部勤務復員事務官 植田一雄(四三三)
 池田泰輔(七六七)

同 舞鶴管船部勤務復員事務官 山田利夫(六八八)
 同 橫須賀管船部勤務復員事務官 近藤利夫(六八八)

同 下關掃海部勤務ヲ命ズル 穂積錢彦(九九)

榮昌丸乘組ヲ命ズル 同 山崎康弘(三三三)

榮昌丸醫療業務囑託ヲ解キ橫須賀管船部醫療業務ヲ囑託スル 野村太陽

佐世保管船部醫療業務囑託ヲ解キ榮丸醫療業務ヲ囑託スル 古閑信男

十一月二十七日發令(第二復員局)
 橫須賀管船部勤務復員事務官 横山嘉司(六四三)
 輸第九號乘組ヲ命ズル

右八十一月十四日復員シタ
 元海軍技術少尉 佐々木 佐太郎(二〇二)
 同 谷 芳喜(二〇三)

右八十一月十八日復員シタ
 元海軍技術少尉 竹下 尙男(七五三)

○雜款

○追加
 第一五二號令達欄復二第七九九號中「同 新南」ノ次ニ「S 第十九號」ヲ追加スル。

○郵便物發送先
 第九號輸送艦 昭和二十二年一月末日迄神戸市生田區川崎造船所氣付
 右以後 東京都中央區丸ノ内丸ビル六階大洋漁業株式會社事業部氣付

0694

第二復員局公報 第一六二號

昭和二十二年十二月九日(火)
第七復員局文書課

○通 牒

元海軍特務士官以下ノ出身デアル官吏及ビ雇員ノ人事取扱イニ關スル件申進

昭和二二年十二月五日

第二復員局人事部長

元海軍特務士官以下ノ出身デアル官吏及ビ雇員ノ人事取扱イニ關スル件申進

元海軍特務士官以下ノ出身デアル官吏及ビ雇員ノ人事取扱イハ、元鎮守府所管ノ區分ニヨツテソレハ、在籍ノ地方復員局デ
テイルガ、昭和二十三年一月一日以降各勤務廳(艦船ヲ
含ム)ノ所屬ノ長(地方復員局長)ガ、コレヲ取扱ウコトニ定
メラレタカラ承知サレタイ。

追ッテ該當者ニツイテ、ソノ履歷書ノ副本ヲ送付又ハ受領サ
レタイ。オオ第二復員局勤務ノ者ノ取扱イニツイテハ、昭和
二十二年九月一日二復人第七號ノ一五ニヨルコトハ從前下オ
ビテアル。

二復人第七號ノ一五

昭和二十二年九月一日

第二復員局人事部長

各地方復員局長殿

元海軍特務士官以下ノ出身デアル官吏ノ人事
取扱イニ關スル件申進

第二復員局公報 第一六二號 昭和二十二年十二月九日

元海軍特務士官以下ノ出身デアル官吏ノ人事取扱イハ、元鎮守
府所管ノ區分ニヨツテ、夫々在籍ノ地方復員局ヲ行ツレテイル
ガ、第二復員局勤務ノモノニ限リ、自今第二復員局長方取扱ウ
コトニナツタカラ承知サレタイ。

二復人第七號ノ二七

昭和二十二年十二月三日

第二復員局人事部長

各地方復員局長殿

元海軍特務士官以下ノ出身デアル官吏ノ人事
取扱イニ關スル件申進ノ件通知

本年九月一日二復人第七號ノ一五申進中次ノヨウニ改メラレタ
カラ承知サレタイ。
「官吏ノ人事取扱イ……」ヲ「官吏及ビ雇員ノ人事取扱イ……」
ニ改メル。

○辭 令

○左記ハ頭書ノ日附ヲ以テ免官サレタ

昭和二十二年十二月二日 復員事務官 木田 幸人(三七七)
同 同 田口 康生(五九七)

二四一

0695

第一復員局公報 第一六三號

昭和二十二年十二月十七日(水)
第二復員局文書課

昭和三十二年十二月十六日

第二復員局長

○通 牒

第九番電(昭和二十二年十二月六日發電)

宛 第二復員局長

發 部内一般

本年十二月分臨時手当支給ノ件
宛 十二月一日現在内地ニ在ル第二復員部内各屬ニ勤務スル者
吏、職、部員、雇員及ビ傭人ニシテ暫定支給ノ支給ヲ受ケシヤ
者ニハ左ニヨリ臨時手当ヲ支給スル。
支給額
本年十二月分トシテ現實ニ支給セル俸給、給料、報酬
ニ付テ、暫定支給額、臨時支給額(六割)、臨時家族手当及ビ臨時
勤務地手当ノ合計額ノ八分ノ一ニ相當スル額ニ付テ未滿
端數ハ則チ滿タシム。

二十所稅額額
支給額ノ一分六分相當額俱シソノ控除後支出及ビ因庫納付等
付六分十三分分ス恒例諸給與ニ對スル所得稅ト同様ニ取扱ウ
コト。
文庫、印書、紙幣、印紙、封筒、切手、消印、印章、封筒、封筒、封筒
給與特別措置費、(包括)印紙、印紙、印紙、印紙、印紙、印紙、
附 第二復員局長ニ對シテ所管各部ノ支給費額(人員及ビ金額)
ヲ取極メ十二月三十一日迄第二復員局長宛通報ノ旨
ト。

調 査 報 告

右ノ海船トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
昭和二十二年十一月十五日

第一復員局長

復員九ノ九ノ九

二級官テアル係長又ハコレト同等以上ノ職ニアル者ニツイテ
長必テ再任トシテシキハ昭和二十二年復員第五七〇號別表
ノ車馬賃、宿泊料、及シテ食料等ヲ左ニヨリ増額スルコトガ
ナキル。

① 第二復員局長六八割
② 第二復員局總務部長、同大入部部長、同經理部長、同連絡部
長及シテ地方復員局長ハ六割
③ ①以外ノ第二復員局長各部長、第二復員局各課長、地方復員
局長各部長、上陸地連絡所長及シテ艦船ノ長ハ四割
④ 地方復員局長各課長並ニ各基地長、各係長(兼任イ合ハ、
各課長及シテ艦船ノ各課長ハ二割)
⑤ 前項各課長及シテ艦船ノ各課長ニ對シテ必要アリテ認テキハ地
方復員局長ヨリ第二復員局長經理部長ニ協議シテ旅費ノ増額ヲ定
メルコトガ出來ル。

本令自昭和二十二年十一月十五日以降ノ旅行ニキリテ適用
スル。

第三復員局公報 第一六三號

昭和二十二年十二月十七日

二四四

B310

0697

○辭令

○左記ハ各頭書ノ日附ヲ以テ免官サレタ

| | | |
|-------------|-------|----------|
| 昭和二十二年十一月七日 | 復員事務官 | 大矢多作(特) |
| 昭和二十二年十二月五日 | 同 | 西野繁(九九) |
| 同 | 同 | 前田一郎(三五) |
| 同 | 同 | 武藤克三(三五) |
| 同 | 同 | 高田敏夫(三八) |
| 同 | 同 | 古本信雄(三八) |
| 同 | 同 | 大友有雄(四八) |
| 同 | 同 | 松元金一(四九) |
| 同 | 同 | 福島兵二(特) |
| 同 | 同 | 前田瑞彦(八四) |
| 同 | 同 | 小池元吉(ク) |
| 同 | 同 | 中留信男(ク) |
| 同 | 同 | 都留敏夫(シ) |
| 同 | 同 | 住友信夫(日) |

十一月七日發令(第二復員局)
復員事務官 大矢多作(特)

二十七號俸ヲ給スル

十二月一日發令(第二復員局)

第二復員局資料整理 福井 靜夫(ソ)

第二復員局兼總務部勤務ヲ命ズル 加賀谷 正光

第二復員局兼總務部勤務ヲ命ズル 野村 太陽

横須賀管船部醫療業務囑託ヲ解除ス

十二月五日發令(第二復員局)

兼横須賀管船部長ヲ免ズル 鹿目 善輔(三五)

舞鶴管船部勤務復員事務官 高井 太郎(四六)

大阪地方復員局總務部勤務ヲ命ズル 復員事務官 西野 繁(九九)

二十六號俸ヲ給スル 前田 一郎(三五)

二十五號俸ヲ給スル 同 武藤 克三(三五)

二十四號俸ヲ給スル 同 高田 敏夫(三八)

二十一號俸ヲ給スル 同 福島 兵二(特)

同 小池 元吉(ク)

同 都留 敏夫(シ)

二十五號俸ヲ給スル 同 住友 信夫(日)

十二號俸ヲ給スル 同

○雜款

○正誤 第一六一號十二月九日(月)八十二月八日ノ誤植

○郵便物發送先 茨城縣世話課第二復員係

茨城縣水戸市 茨城縣廳内(三階)

阪復 特掃海事務所及鹽特掃海隊事務所

神戸市生田區中突堤A上屋 神戸海運管理部氣付

○事務所 願津四十七、同四十九、巨濟殘務整理

横須賀市田浦町管船部氣付 第十群殘務整理班

9030

0698

第二復員局公報 第一六四號

昭和二十二年十二月二十二日(月)
第二復員局文書課

○ 令 達

○ 通 牒

復二第九一八號

第四期(復)第二四五號本年度歳出科目ニ左ノ通り追加サレタ
昭和二十二年十二月十一日

第二復員局長

| | | | | |
|---------|------------------------|---|---|----|
| 部 | 課 | 係 | 職 | 名 |
| (行政共通費) | | | | |
| (諸支出金) | | | | |
| (諸支出金) | | | | |
| 四 | | | | |
| 別 | 昭和二十二年法律第一六六號ニヨル特別一時手當 | | | ナホ |
| 一 | 昭和二十二年法律第一六六號ニヨル特別一時手當 | | | ナホ |
| 二 | 昭和二十二年法律第一六六號ニヨル特別一時手當 | | | ナホ |
| 三 | 昭和二十二年法律第一六六號ニヨル特別一時手當 | | | ナホ |

第六番電 (昭和二十二年十二月二十二日發電済)
發 第二復員局長
宛 部内一 般

年末一時手當ニ關スル件

本年十二月十三日現在内地ニアル第二復員部内各廳ニ勤務スル官吏、嘱托者、雇員及ビ傭人ニシテ暫定加給ノ支給ヲ受ケテイル者ニハ左ニヨリ年末一時手當ヲ支給スル

一 支給額

十二月分トシテ現ニ受ケル俸給、給料(報酬)シ含ム以下同ジ、暫定加給、同臨時増給(六割)、臨時家族手當及ビ臨時勤務地手當ノ合計額ニソノ合計額ノ八分ノ一ニ相當スル金額(十二月六日第九番電ニヨル臨時手當相當額)ヲ加ヘタ金額(四位末滿ノ端數ハ四位ニ滿クシム)

二 所得稅額

支給額ノ一割五分相當額

三 支出科目

諸支出金(款、項) 手當及給與金(目) 特別一時手當(節)
四 各復員局經理部長ハ所管各部ノ支給實績(人員及ビ金額)ヲ取纏メ十二月三十一日迄ニ第二復員局經理部長宛通報スルモ

第二復員局公報 第一六四號 昭和二十二年十二月二十二日

二四五

0050

0699

ノトス

五 昭和二十二年度分給與所得ニ對スル所得稅額ノ年末調整
(所得稅法第四十條)ハ所轄稅務署ト協議ノ上昭和二十三年一
月分ノ給與所得ニヨリ過不足ヲ精算スルモ差支ナイ(本件大
藏省主稅局了解ズミ)

六 前號ニヨリ一月分ニオイテ年末調整ヲスル場合ハ十二月分
恒例諸給與(十二月二十五日第六番電)及ビ十二月分臨時手當
(十二月六日第九番電)ニ對スル所得稅額ハ既ニ控除シタル額
ニ此ノ際支出シ國庫ニ納付スルモノトス
註 年末調整ニ使用スル稅額計算表ハ二復經理部ヨリ送付手配
中ナルモ所轄稅務署ヨリ至急交付ヲ受ケルコト

○ 辭 令

右八月二十一日復員シク
元海軍中尉 平 田 稔 (ヨク九三〇)

元海軍軍醫少佐 田 中 進 (〇三三)
元海軍軍醫中尉 小林 春 英 (三六五)
右八月二十二日復員シク
元海軍軍醫大尉 梶 塚 隆 基 (二二八)

同 假 家 達 朗 (三五五)
同 前 田 正 敏 (九六六)
右八月二十四日復員シク
元海軍技術大尉 福 崎 達 之 (九六五)

右八月二十七日復員シク

右八月十一日復員シク
元海軍軍醫大尉 山口 時 三 (六五四)

元海軍大尉 中 村 四 郎 (ヨク三三七)
元海軍中尉 庄 田 耕 次 郎 (ヨク一〇五〇)

同 水 野 俊 一 (ヨク三三三八)
同 加 古 邦 哉 (ヨク三〇五七)

元海軍主計少尉 小 松 昌 平 (三三三七四六)

右八月二十日復員シク
元海軍大尉 生 駒 準 雄 (ヨク三六九〇)

元海軍中尉 飯 山 實 (ヨク六四八)
同 山 田 和 男 (ヨク八〇七)

元海軍少尉 今 井 謙 二 (ヨク三〇四)

元海軍軍醫大尉 磯 典 理 (二九五四)
同 平 野 誠 己 (一八七四)

元海軍商科醫中尉 坂 口 孝 至 (一一〇)
元海軍主計大尉 尾 崎 重 毅 (七四三)

右八月二十一日復員シク
元海軍中尉 瀧 田 和 人 (ヨク九三三)

同 高 村 孝 也 (ク 九六三)
元海軍少尉 橋 本 正 美 (ク 三〇三)

同 錦 田 喜 壯 (ヨク三二〇四)

同 志 波 保 雄 (九六五)

0000

0700

| | | |
|---------------------------|--------------------|------------------|
| 元海軍主計大尉 服部慎二郎 (一六五) | 昭和二十年十一月三十日附 | 海軍少尉 志波保雄 (七九九) |
| 元海軍主計中尉 太田良平 (三三三) | | |
| 元海軍主計少尉 茶谷和夫 (三三三、三三三) | | |
| 同 高村荒男 (三三三、三三三) | | |
| 右ハ十一月二十六日復員シタ | ○左記ハ各頭書ノ日附ヲ以テ免官サレタ | |
| 元海軍技術中尉 小貫一郎 (六六六) | 昭和二十二年十二月十日 | |
| 右ハ十一月二十八日復員シタ | 復員事務官 | 志岐常雄 (六六六) |
| 元海軍大尉 村上正利 (ヨ、九五) | 同 | 佐藤勝男 (三三三) |
| 元海軍齒科醫中尉 吉屋勝 (一六) | 同 | 今野金次郎 (特) |
| 元海軍主計大尉 工藤唯輔 (一九六) | 同 | 佐藤謙 (三三三) |
| 同 森卓 (三三三) | 昭和二十二年十二月十六日 | 小川敏夫 (三三三) |
| 元海軍技術大尉 若林二郎 (三三三) | 同 | 田中嘉平治 (六六六) |
| 同 天野貞夫 (三三三) | 同 | 尾中哲夫 (三三三) |
| 元海軍技術少尉 安藤正 (七〇六) | 二十年九月十五日發令(海軍省) | 宮崎英雄 (三三三) |
| 同 飯田仲重 | 右充員召集ヲ解除ス | 海軍中尉 西村隆 (ヨ、三三三) |
| 右ハ十一月三十日復員シタ | 九月三十日發令(復員廳) | |
| 元海軍中佐 佐藤薫 (三三三) | 復員事務官 石川晴一 (ヨ、三三三) | |
| 元海軍少佐 豊田勝弘 (三三三) | 同 高橋武夫 (ヨ、三三三) | |
| 元海軍大尉 小泉保太郎 (三三三) | 同 林茂 (ヨ、三三三) | |
| 右ハ十二月三日復員シタ | 十八號俸ヲ給スル | |
| ○取消 | 十四號俸ヲ給スル | |
| 左記豫備役編入ノ辭令ハ取消 | | |

第二復員局公報 第一六四號 昭和二十二年十二月二十二日

三四七

5000

0701

同 橋本道夫(ヨリ三〇四)
同 木村勝哉(クニ三三三)
十三號俸ヲ給スル

十二月五日發令(第二復員局)

飯田亮(クニ九六)
徳山試航基地醫療業務囑託ヲ解キ桑榮丸醫療業務囑託兼徳山試航基地醫療業務ヲ囑託スル

古閑信男

桑榮丸醫療業務囑託ヲ解キ佐世保管船舶部醫療業務ヲ囑託スル

十二月十日發令(第二復員局)

佐世保管船舶部部長

室田勇次郎(九六)

兼佐世保管船舶部長ヲ命ス

横須賀船舶部勤務復員事務官 岡野幸郎(七七)

下關掃海部勤務ヲ命スル

復員事務官 志岐常雄(六六)

二十九號俸ヲ給スル

同 佐藤勝男(三〇九)

二十六號俸ヲ給スル

同 今野金次郎(特)

二十五號俸ヲ給スル

復員事務官 福田義之

十五號俸ヲ給スル
願ニ依リ本官ヲ免スル

十二月十三日發令(第二復員局)
舞鶴船舶部勤務復員事務官 花田賢司(五五四)
驅特第七十九號艦長ヲ命スル

十二月十五日發令(第二復員局)

わかくさ丸船長復員事務官 高橋仁四郎(二五九)

横須賀船舶部勤務ヲ命スル

舞鶴地方復員局事務官

石田捨雄(三〇三)

第二復員局調査部勤務ヲ命スル

舞鶴地方復員局事務官

田中一郎(三五九)

第二復員局總務部勤務ヲ命スル

わかくさ丸乗組復員事務官 大和國民(四五六)

徳山試航基地勤務ヲ命スル

同

國田公義(七九六)

吳管船舶部勤務ヲ命スル

舞鶴地方復員局事務官

小川巳代治(七〇六)

第二復員局總務部勤務ヲ命スル

舞鶴地方復員局事務官

永井博(三〇四)

大阪地方復員局總務部勤務ヲ命スル

舞鶴地方復員局事務官

博(三〇四)

1070

0702

事務課長

第二復員局公報 第一六五號

昭和二十二年十二月二十七日(土)
第二復員局文書課

○令 達

公 表 復 二 第 九 九 一 號

元海防艦 生 名

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解

昭和二十二年十二月二十六日

第二復員局長

○通 牒

總理廳甲一九五號

昭和二十二年十二月十五日

總理廳官房總務課長

第二復員局總務課長殿

各隨職員ノ賜暇ニツイテ

大正十一年閣令第六號第五項ノ規定ニヨツテ各隨職員ニ二十日以内ノ休暇ヲ與ヘル場合、ソノ日數ハ曆年ニヨツテコレヲ計算シ、毎年十二月ヲ以テ打子切ルコトニナツテイルガ、本年ノ賜暇ニ限り特別ノ事情アルモノニツイテハ、殘リノ日數ハ明年三月末日迄ノ間ニ繰リ越シテ與ヘルコトガ芳キルコトニ本日次官會議デ中合セガアツタカラ念ノシメ通知シマス。

○辭 令

○左記ハ頭書ノ日附ヲ以テ免官サレク

昭和二十二年十二月二十日 記

復員事務官 福島 榮 吉 (八五五)

岡田 靜 一 (三五〇)

田中 常 治 (三六〇)

有留 喜 郎 (三六三)

廣田 秀 三 (三七三)

川畑 幹 榮 (三九五)

松元 榮 任 (四八三)

筆前 亨 (四三〇)

宇田 廣 美 (四三七)

橋本 一 郎 (四八五)

渡邊 清 規 (五一四)

神田 英 夫 (五〇二)

平尾 義 裕 (五〇六)

藤井 仲 之 (五〇〇)

伊藤 正 敬 (五七九)

第二復員局公報 第一六五號 昭和二十二年十二月二十七日

二四九

0703

十二月三十日發令(第二復員局)

二十六號俸ヲ給スル

復員事務官 福島榮吉(八五)

二十三號俸ヲ給スル

同 岡田靜一(三五)

二十一號俸ヲ給スル

同 田中常治(三四)

十七號俸ヲ給スル

同 辻滿壽夫(五〇)

元海軍少將 魚住治策(三〇)

元海軍大佐 小野田捨次郎(五〇)

同 中島第三(三七)

元海軍主計大尉 野上誠(八三)

同 大原徹夫(二五)

同 川島廣守(八六)

同 宮崎清文(九四)

同 山中駿一(三六)

元海軍主計中尉 米津保男(三五)

元海軍法務大尉 高木文男(九)

元海軍技術大尉 寒川春海(三四)

元海軍技術少尉 鳥取善衛(四八)

右ハ十二月三日復員シタ

右ハ十二月六日復員シタ

同 柳澤邦彦(七二)

元海軍法務大尉 島谷六郎(七)

山下猛夫(五三)

右ハ十二月十二日復員シタ

特別保管艦隊復員事務官

阿部由一

頭書ノ出納官吏ヲ命ズル

中田政雄

同

右出納官吏ヲ免ズル(以上五月十三日第二復員局經理部長)

特別保管艦隊第十四號復員事務官

今西伸二

頭書ノ出納官吏ヲ命ズル(四月一日同)

右出納官吏ヲ免ズル(七月一日同)

横須賀地方復員局管船部復員事務官

計見良雄

兼テ所管特別保管艦ノ出納官吏ヲ命ズル(八月三十一日同)

復員事務官

半澤善吾

同

阿部由一

同

樽山明

同

外海信雄

同

安島榮

同

小泉秀雄

同

宮澤製次

同

安藤義雄

同 西澤榮太郎
 同 宮腰清
 同 細谷孝至
 同 武井幸雄
 同 須藤重雄

出納官吏ヲ免ズル(以上八月三十一日同)
 復員事務官 佐藤浩一

出納官吏ヲ免ズル(十月三十一日同)
 復員事務官 尾中哲夫
 同 山口文雄
 同 小川敏夫

出納官吏ヲ免ズル(以上十二月五日同)

正誤

五月八日復員廳第二復員局辭令公報出納官吏任免ノ件申平岩政雄トアルハ中田政雄ノ誤リ

0706

第二復員局公報 第一六五號ノ二

昭和二十二年十二月二十七日(土)
第二復員局文書課

○遺 牒

復三第二〇三三號

昭和二十二年十二月二十四日

第二復員局文書課長

關係各局長殿

掃海管船部ニ於ケル被服糧食給與ニ關スル件通牒

首題ノ件左記ノ通定メラルル豫定。

記

食 分

被 服

給與範圍

食

給與範圍

現行支給額通

全部貸與制度トシ新品名數量ヲ制定セラ
レルマデ當分ノ間現貨與品ニテ處辨スルコ
ト。

艦船及雜役船定員タル乗員ニ限定スル。

公務ノ爲臨時乗船行動作業中ノ者ニハ艦船
乗組員ニ準ジ糧食ヲ支給スル。但食糧ノ一
般配給ヲ受ケテキルモノニ對シテハ主食品

日額米二〇〇瓦、麥六四瓦、計二六四瓦ト

被 服

艦船及雜役船定員タル乗員及ビ其ノ他特ニ
認許ヲ得ク者ニ貸與スル。(終)

二復人扶第四號ノ三

昭和二十二年十二月二十七日

第二復員局人事部長

各 廳 長 殿

恩給事務ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通り總理官ヨリ通牒ガアツクカラ關係者
ニ周知方然可取計ハレタイ。

(別紙第一)

人恩第六五號

昭和二十二年十二月六日

總理廳官房人事課長

第二復員局長殿

標記ノ件ニツイテ總理廳恩給局長ヨリ別紙ノトオリ申越ガアツ
クノデヨロシク御取計ライ願イタイ。

(別紙第二)

恩養發第六三號

第二復員局公報 第一六五號ノ二 昭和二十二年十二月二十七日

二五三

0707

十二月二十六日發令(第二復員局)

復員事務官 與倉三四三(三五七)

二十五號俸ヲ給スル

同 木山正義(三五四)

二十三號俸ヲ給スル

同 山口克巳(三五六)

二十一號俸ヲ給スル

同 鈴木靖隆(三五〇)

同 草野家康(三五六)

同 奥山壽一(五六八)

同 坂元拓運(五九三)

十七號俸ヲ給スル

十二月二十七日發令(第二復員局)

紀伊由良補給基地長ヲ命スル

大阪地方復員局長

大坂地方復員局長

紀伊由良補給基地長ヲ命スル

横須賀管船部勤務復員事務官

第二復員局總務部勤務ヲ命スル

同

同

横須賀地方復員局經理部勤務兼横須賀管船部勤務ヲ命スル

浦山千代三郎(五五五)

永井博(五七四)

西尾駿一(七六八)

計見良雄(シ三〇)

砂川紀雄(シ二〇)

同

同

同

同

横須賀地方復員局經理部勤務ヲ命ス

佐世保地方復員局經理部勤務兼佐世保管船部勤務ヲ命ス

右八十一月二十二日復員シタ

元海軍少尉 五十嵐文雄(ヨム三三三〇)

元海軍大尉 宮崎榮一(ヨム三〇八二)

元海軍中尉 入澤廣典(ヨム三〇四七)

元海軍少尉 湊克(ヨム三〇四七)

右八十一月三十日復員シタ

元海軍大尉 飯澤治(五五五)

元海軍中尉 柳澤信夫(ヨム三〇四七)

同 山田英雄(ヨム三〇四七)

同 樋口敏明(ヨム三〇四七)

同 坂朝彦(ヨム三〇四七)

右八十二月六日復員シタ

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

○ 雜 款

○ 殘務整理終了

第七群特別保管艦(艦第一百十號、同第四百十七號、同第十三號、同第九號、同第十六號)ノ殘務整理八十二月十五日附終了

第三群(竹、董、夕風、響、波風)ノ殘務整理八十二月十五日附終了

第八群(掃一〇二號、掃二三號、石崎、神島、掃特十八號、十七號)ノ殘務整理八十二月二十七日附終了

0710

第二復員局公報

第一六五號ノ三

昭和二十二年十二月二十七日(主)

通 牒

達第六九五號

海運總局掃海管船部分規程ヲ次ノヨウニ定メル。

昭和二十二年十二月二十七日

運輸大臣 北村 德太郎

第一條 掃海管船部ニ左ノ五課一所ヲ置ク。

總務課

掃海課

管船課

通信課

中央電信所

第二條 總務課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 庶務會計ニ關スル事項

二 各課事務ノ綜合調整ニ關スル事項

三 保管船艙ノ造修ニ關スル事項

四 部内ノ他課ニ屬シナイ事項

第三條 掃海課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 掃海ニ關スル事項

第二復員局公報 第一六五號ノ三 昭和二十二年十二月二十七日

三五六ノ一

第四條 管船課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 保管船艙(保管船艙ノ造修及ビ通信ヲ除ク)ニ關スル事項

第五條 補給課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 燃料、需品、被服、糧食、掃海用具及ビ醫藥品ノ調達並ビニ補給ニ關スル事項

第六條 通信課ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 保管船艙及ビ掃海用ノ通信ニ關スル事項

第七條 中央電信所ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 保管船艙及ビ掃海用ノ通信ノ實施ニ關スル事項

第八條 部長ハ、海運總局長官ノ指揮監督ヲ受ケ、部務ヲ掌理スル。

附 則

一 コノ達ハ昭和二十三年一月一日カラコレヲ施行スル。

達第六九六號

海運總局掃海部等設置ノ件ヲ次ノヨウニ定メル。

昭和二十二年十二月二十七日

運輸大臣 北村 德太郎

第一條 掃海ノ實施及ビ保管船艙事務ヲ取り扱ワシムルタメ、

海運總局掃海部等設置ノ件ヲ次ノヨウニ定メル。

昭和二十二年十二月二十七日

運輸大臣 北村 德太郎

第一條 掃海ノ實施及ビ保管船艙事務ヲ取り扱ワシムルタメ、

左ノ海運局ニ掃海部又ハ管船部ヲ置ク。

關東海運局管船部

近畿同 掃海部

中國同 同

九州同 管船部

同 同 掃海部

第二條 掃海部ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 掃海ノ實施ニ關スル事項（掃海關係ノ捕撿、造修及ビ通信等ノ事務ヲ含ム。）

第三條 管船部ニオイテハ、左ノ事務ヲ掌ル。

一 保管船舶ノ實施ニ關スル事項（保管船舶關係ノ捕撿、造修及ビ通信等ノ事務ヲ含ム。）

第四條 部長ハ、海運局長ノ指揮監督ヲ受ケ、部務ヲ掌理スル。

第五條 海運局長ハ、必要ナル地ニ、掃海部又ハ管船部支部若シクハ電信所ヲ設置スルコトガデキル。

附 則

コノ達ハ昭和二十三年一月一日カラ、コレヲ施行スル。

○ 辭 令

○昭和二十二年十二月二十六日（總理廳）

復員事務官 澤 谷 敏

二級ニ陞叙スル

十二月二十六日發令（第二復員局）

復員事務官 澤 谷 敏

十六號俸ヲ給スル

第二復員局人事部勤務ヲ命スル

十二月二十六日發令（總理廳）

復員事務官 谷田部久左衛門

二十一號俸ヲ給スル

願ニ依リ本官ヲ免スル

○ 雜 款

○事務所名稱變更

石川縣民生部世話課第三科

石川縣金澤市下本多町三番町

第二復員局公報

第一六五號ノ四

第二復員局文書課

昭和二十二年十二月二十七日(土)

業務課長

○通 牒

班長

第一三番電 (昭和二十二年十二月十七日發電済)

發 第二復員局長

車人

横須賀地方復員局經理部長
節上陸地連絡所長

庫庫

北海道在勤者一時手當ノ件

以表

本年十二月九日現在北海道ニ勤務スル官吏、囑託者、雇員及ビ傭人ニシテ暫定加給ノ支給ヲ受ケテイル者ニハ越冬燃料ノ購入費補給ノグメ左ニヨリ北海道在勤者一時手當ヲ支給スル。

葬祭

世帯主(米穀通帳ニ記載ノ世帯主ヲ謂フ)デアル職員ニアツテハ一人ニツキ三千圓、ソノ他ノ職員ニアツテハ一人ニツキ千圓

整理

四 所得税額

二 支給額ノ一割五分相當額

三 支出科目

諸支出金(款、項) 手當及給與金(目) 石炭手當(節)

四、横須賀地方復員局經理部長ハソノ支給實額(人員及ビ金額)

ヲ十二月三十一日迄ニ第二復員局經理部長宛通報スルモノト

ス。

第一〇番電、第一一番電 (昭和二十二年十二月二十日發電済)

發 第二復員局長

宛 部内一般

第二次年末一時手當支給ノ件

本年十二月二十日現在内地ニアル第二復員部内各隨ニ勤務スル官吏、囑託者、雇員及ビ傭人ニシテ暫定加給ノ支給ヲ受ケテイル者ニハ左ニヨリ第二次年末一時手當ヲ支給スル。

一、支給額

本年十二分トシテ現ニ受ケル俸給、給料(報酬ヲ含ム)、暫定加給、同席時増給(六割)、臨時家族手當及ビ臨時勤務地手當ノ合計額トソノ合計額ノ八分ノ一ニ相當スル金額(十二月六日第六番電)トノ總計額ニ對シ十二月二十日現在ノ勤務照所在地ニ從ヒ左ノ割合ヲ乘ジテ得タ金額(圓位未満ノ端數ハ圓位ニ滿クシム)

(イ)特別地域(東京都、大阪市)

十三割

(ロ)甲地域(横須賀市、福岡市、門司市、吳市、佐世保市及ビ舞鶴市)

十一割

(ハ)乙地域(前二號以外ノ市及ビ大竹町)

九割

第二復員局公報 第一六五號ノ四 昭和二十二年十二月二十七日

二五六ノ三

0713

(三) 其ノ他ノ地域(前各號以外ノ地)

七割

二、減額

昭和二十二年一月三日以降新ニ任用又ハ採用シタモノニ對スル年末一時手當ハ前號ニヨリ計算シタ金額ニ對シ任用又ハ採用ノ日ニ應ジ左ノ割合ヲ乘ジテ得ク金額(圓位未滿ノ端數ハ圓位ニ滿タシム)

(イ) 一月二日から三月三十一日までノ間ニ新ニ任用又ハ採用シタモノハ 八割

(ロ) 四月一日から六月三十日までノ間ニ新ニ任用又ハ採用シタモノハ 六割

(ハ) 七月一日から九月三十日までノ間ニ新ニ任用又ハ採用シタモノハ 四割

(ニ) 十月一日から十二月二十日までノ間ニ新ニ任用又ハ採用シタモノハ 二割

(註) 他官廳ニ轉官シタ者又ハ退職ノ日若ハソノ翌日ニ採用ノ者ハ引續キ在職者トスル。

三、所得稅額

支給額ノ一割五分但シ年内ニ年末調整ノ場合ハ本手當ト第一次年末一時手當ト合計シテ本人手取額ガ月收ノ一、五分分ヲ下ラナイ程度ニオイテ概算調整スルモ差支ナイ。

四、支出科目

諸支出金(款、項) 手當及給與金(目) 特別一時手當(節) 五、各復員局經理部長ハ所管各部ノ支給實績(人員及ビ金額)ヲ

取辦メ二十三年一月十五日迄ニ第二復員局經理部長ニ通報ノコト。

第一番電 (昭和二十二年十二月二十三日發電済)

宛 第二復員局長 部内 一 般

第二次年末一時手當支給ノ件申改正ノ件

本月二十日第一〇番電(第一番電)第一號(乃至(ニ)中)十三割十一割、九割、七割ヲ各「十割」ニ改メル。

(註) 地域差ヲ廢ス

第一番電 (昭和二十二年十二月二十七日發電済)

宛 第二復員局長 部内 一 般

超過勤務手當支給ニ關スル件

本年十二月二十七日現在内地ニアル第二復員部内陸上各部ニ勤務スル官吏、囑託者、雇員及ビ傭人ニシテ暫定加給ノ支給ヲ受ケテイル者(糧食ノ給與ヲ受ケル者ヲ除ク)ニ對シテハ本年七月分乃至十二月分ノ超過勤務手當申時間外手當トシテ左ニヨリコレヲ概算支給スルコトガ出來ル。

一、支給額

本月二十七日現ニ受ケル次ノ給與合計月額ノ二百分ノ一(錢未滿切捨)ノ金額ヲ一時間當リノ超過勤務手當額トシヨレニ對シ官吏(同待遇囑託者ヲ含ム以下同シ)ニアツテハ二〇〇時

間ブ、ソノ他ノ者ニアツテハ一二〇時間ヲ時間外勤務シタモ
 ノト看做シソノ時間數ヲ乘ジテ得タ金額カラ本年七月乃至十
 二月中ニ支給シタ居殘食料ノ額ヲ控除シタ金額(圓位未滿ノ
 端數ハ圓位ニ滿クシム)

(f) 俸給又ハ給料(報酬ヲ含ム)

(g) 暫定加給

(h) 暫定加給臨時増給

(i) (f)乃至(h)ノ合計額ニ臨時勤務地手當ノ支給率ヲ乘ジタ金額

(j) (i)乃至(g)ノ合計額ノ八分ノ一ノ金額

二、減額

本年七月二日以降新ニ部内ニ就職シタ者又ハ糧食ノ給與ヲ受
 ケタ廳ヨリ轉勤シタモノニ對シテハ前號ノ超過勤務一時間當
 リ金額ニ次ノ數ヲ乘ジテ得タ金額カラ本年七月乃至十二月中
 ニ支給シタ居殘食料ヲ控除シタ金額(圓位未滿ノ端數ハ圓位
 ニ滿クシム)

(k) 官 吏 出勤日數ニ〇、九ヲ乘ジテ得タ數(一位未滿切捨)

(l) 其ノ他 出勤日數ニ〇、七ヲ乘ジテ得タ數(一位未滿切捨)

(註)七月カラ十二月ノ期間中居殘食料ヲ支給スル廳ノ相互

間ヲ轉勤シタ者ハ前廳ノ勤務日數ヲ通算スル。

本年十二月二十七日現ニ糧食ノ給與ヲ受ケル者デ七月カラ十
 二月二十六日迄ノ期間ニ於テ糧食ノ給與ヲ受ケナカッタモノ
 ニ對シテハ糧食ノ給與ヲ受ケナカッタ出勤日數ニ應ジ前項ニ

準ジ現ニ勤務スル廳ニオイテ本手當ヲ支給スルコトガデキ
 ル。

三、所得稅額

支給額ノ一割五分相當額

四、支出科目(新設科目)

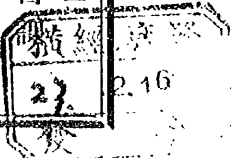
第二復員費(項) 手當及給與金(目) 超過勤務手當(節)

五、各復員局經理部長ハ所管各部ノ支給實績(人員及ビ金額)ヲ
 取纏メ二十三年一月三十一日迄ニ第二復員局經理部長ニ通報
 ノコト。

第二復員局公報

第一六五號ノ五

昭和二十二年十二月二十七日(土)
第二復員局文書



命令

復第一〇七三號

第二復員部内未復員者給與規則ヲ次ノヨウニ制定スル。

昭和二十二年十二月二十七日

第二復員局長

第二復員部内未復員者給與規則

第一條 元海軍軍人軍屬デマダ復員シテナイモノ(以下未復員者ト謂ウ)ニ係ル俸給、扶養手當、歸郷旅費、遺族出頭旅費及ビ埋葬料竝ビニ未支給給與ハ本規則ニヨリ支給スル
註 未支給給與トハ本令適用ノ際從前ノ規定ニヨル諸給與デ未ダ支給シテナイ分ヲ謂フ

第二條 未復員者ノ俸給ハ月額百圓トスル

第三條 俸給ハ未復員者ガ内地ニ歸還シタトキコレヲ支給スル但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハソノ者ガ歸還スル前デモソノ各該當スル者ニコレヲ支拂ウコトガデキル

(イ) 未復員者ガ死亡シタトキハソレ迄ノ未支給ノ分ニ付キ遺族出頭旅費ヲ支給ヲ受ケル者

(ロ) 未復員者ガ連合國軍ノ命令ニヨツテ戰爭犯罪人又ハソノ容疑者トシテ逮捕、抑留又ハ處刑サレタトキハソレ迄ノ未支給ノ分ニ付キ遺族ノ配偶者、子、父母、孫、祖父母及ビ兄弟姉妹ノ順位(同順位ニアツテハ長ハ幼ニ先ダツ)ニヨリ、コレヲノ親族ヲ欠クトキハソノ者ト生計ヲ一ニシ且ツ主トシテソノ收入ニヨツテ生計ヲ維持シテイル者

給ノ分ニ付キソノ配偶者、子、父母、孫、祖父母及ビ兄弟姉妹ノ順位(同順位ニアツテハ長ハ幼ニ先ダツ)ニヨリ、コレヲノ親族ヲ欠クトキハソノ者ト生計ヲ一ニシ且ツ主トシテソノ收入ニヨツテ生計ヲ維持シテイル者
(ハ) 本令適用ノ際現ニ未復員者ノ家族ガ從前ノ規定ニヨリ給與ノ支拂ヲ受ケテイルトキハ本令ノ定ムル額ニ付キノノ家族
第四條 未復員者デ扶養親族ノアルモノニハ扶養手當ヲ支給スル扶養手當月額ハ百五十圓ニ扶養親族ノ員數ヲ乘ジテ得タ額トスル
第五條 本令適用ノ際現ニ從前ノ規定ニヨリ臨時家族手當ノ支給ヲ受ケテイル未復員者ニツイテハ第二條ノ俸給月額ト前條ノ扶養手當月額トノ合計額ガ昭和二十二年三月分トシテ受ケテイタ給與ノ月額ヨリ少イトキニハソノ差額ヲ前條ノ扶養手當ノ月額ニ加ヘタ額ヲソノ者ノ扶養手當ノ月額トスル
第六條 第四條ノ扶養親族トハ未復員者ガ内地ニ殘シテイルソノ配偶者竝ビニ左ニ掲グルニ親等内ノ血族及ビ一親等ノ姻族デソノ未復員者ト生計ヲ一ニシ且ツ主トシテソノ收入ニヨリ生計ヲ維持シテイルト認メラレルモノトスル
一 年齢滿十八才未滿又ハ滿六十才以上ノ者
二 不具殘疾ノ状態ニアル者

第二復員局公報 第一六五號ノ五

昭和二十二年十二月二十七日

二五六ノ七

0716

註 同一戸籍内ニ在ルコトヲ要ジナイ

第七條 扶養手當ノ支拂ヲ受ケル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事實ガアル場合ニオイテハソノ事實ガ發生シタ日カラ一箇月以内(アラタニ扶養手當ノ支拂ヲ受ケル者ガ内地外カラ歸還シタモノデアル場合ハソノ内地ニ歸還シタ日カラ三箇月以内)ニソノ旨ヲ支給廳ニ届ケ出デナケレバナシナイ但シアラタニ扶養手當ノ支拂ヲ受ケル者ニアツテハソノ現住所ヲ管轄スル都道府縣ノ民政局世話課又ハ民政部世話課ニ届ケ出ルモノトシ民政局世話課又ハ民政部世話課ハコレヲ支給廳ニ通知スルモノトスル

註 但書ノ場合デモ直接支給廳ニ届ケテ差支ナイ

(イ)アラタニ扶養親族タル要件ヲ具備スル者ガアルニ至ツタ場合

(ロ)扶養親族ノウチ扶養親族タル要件ヲ欠ク者ガアルニ至ツタ場合扶養手當ハ前項各號ニ掲グル事實ノ生ジタ日ノ屬スル月ノ翌月分カラソノ支給ヲ開始シ、ソノ支給額ヲ改訂シ又ハソノ支給ヲヤメル

第八條 未復員者ガ復員シ又ハ死亡シタトキハ復員シ又ハ死亡シタ日ノ屬スル月分ノ俸給及ビ扶養手當ハ全額コレヲ支給スル

未復員者ガ復員シ又ハ死亡シタ日ノ屬スル月ノ翌月以降ソノ者ノ復員又ハ死亡ノ事實ノ判明シタ日マデニ既ニ支給サレタ俸給又ハ扶養手當ハコレヲ國庫ニ返納サセナイコトガデキル

未復員者ガ復員シ又ハ死亡シタ場合ニオイテソノ者ニ係ル俸給又ハ扶養手當ノ支拂ヲ受ケル者ハソノ者ノ復員又ハ死亡ノ事實ヲ知ツタ日カラ一箇月以内ニコレヲ支給廳ニ届ケ出デナケレバ前項ノ適用ヲ受ケルコトハデキナイ

第九條 未復員者ガ連合國軍ノ命令ニヨリ戦爭犯罪人又ハソノ容疑者トシテ逮捕、抑留又ハ處刑サレタ場合ニオイテハソノ逮捕、抑留又ハ處刑ノ事實ガアツタ日ノ屬スル月ノ翌月分以後ノ俸給及ビ扶養手當ハコレヲ支給シナイ

前項ニ該當シタ者ガ起訴サレル前ニ釋放サレ又ハ無罪ノ判決ヲ受ケタ場合ニオイテハ前項ニヨリ支給ヲヤメタ月分以後ノ俸給及ビ扶養手當ハコレヲ支給スル

第十條 扶養手當ハ未復員者ノ配偶者、子、父母、孫、祖父母、配偶者ノ父母及ビ兄弟姉妹ノ順位(同順位ニアツテハ長ハ幼ニ先ダツ)ニヨツテ支拂ウモノトスル但シ第六條ノ扶養親族ガ相互ニ協議シテソノ支給ヲ受ケル扶養親族ヲ選定シ支給廳ニ申出タ場合ハソレニヨル

第十一條 未復員者ニハソノ復員ノ際歸郷旅費トシテ三百圓ヲ支給スル但シ内地外ニオイテ復員シタ者及ビ連合國軍ノ命令ニヨリ戦爭犯罪人トシテ處刑サレタ者ニハコレヲ支給シナイ

第十二條 未復員者ガ死亡シタ場合ニオイテハ遺族出頭旅費トシテ死亡者一人當リ二百七十圓、埋葬料トシテ死亡者一人當リ三百四十圓ソノ遺族ニ支給スル
前項ノ遺族ノ範圍及ビ順序ハ死亡シタ未復員者ノ配偶者、子、

0717

父母、孫、祖父母及ビ兄弟姉妹並ビニコレヲノ親族ヲ次クトキハソノ葬祭ヲ行ウ者トシ同順位者ニアツテハ長ハ幼ニ先ダツモノトスル

第十三條 遺族出頭旅費及ビ埋葬料ハ連合國軍ノ命令ニヨツテ戰爭犯罪人トシテ處刑サレク者ノ遺族ニハコレヲ支給シナイ

雇員扶助令又ハ傭人扶助令ノ適用ヲ受ケル者ノ遺族ニハ埋葬料ハコレヲ支給シナイ

註 雇員扶助令等ノ適用ヲ受ケル者ニ付テハ同令等ニヨル葬祭料ヲ支給スル

第十四條 未支給給與(元雇員、傭人及ビ工員ニ支給スル退職手當五百圓ヲ含ム)ハナオ從前ノ例ニヨリコレヲ支給スル

註 未復員者給與法別表ハ適用シナイ

第十五條 第一條ニ掲グル諸給與ノ支給應並ビニ本令ニ規定ノナイ諸給與取扱要領ハ從前ノ例ニヨル

第十六條 未復員者ニ付イテ昭和二十二年七月一日以降昭和二十二年十二月二十六日マデノ間ニ於テ從前ノ規定ニヨリ臨時家族手當ノ支給ヲ受ケル基礎トナツテイタ扶養家族以外ノ扶養親族ガアルニ至ツタ場合ニ昭和二十三年三月二十六日迄ニ第七條第一項ノ規定ニヨル届出デヲナシタトキハ同條第二項ノ規定ニ拘ラズソノ扶養親族ノアルニ至ツタ月分カラ當該扶養手當ヲ支給スルコトガデキル

昭和二十二年十二月二十七日 第二復員局長

一 第二復員部内暫定支給規則中左ノ通り改正スル
イ 第一條第四號ヲ次ノ通り改メル
四 未復員者
ロ 第三條中「第四」ヲ「第三」ニ改メル
ハ 別表第四削除

二 第二復員部内臨時家族手當支給規則中左ノ通り改正スル
イ 第一條第四號トシテ次ヲ加エル
四 未復員者
ロ 第二條中第二號ヲ削リ第一號中「一」ヲ削ル
ハ 第四條第一項但書及ビ第二項ヲ削ル
ニ 第六條中「離現役、召集解除」ヲ削ル
ホ 第七條第三號中「應徵若ハ應召」ヲ削ル
ヘ 別表ヲ削ル

復二第一〇九九號
第二復員部内超過勤務手當支給規則ヲ次ノヨウニ制定スル。
昭和二十二年十二月二十七日 第二復員局長

第二復員部内超過勤務手當支給規則
第一條 第二復員部内ニ勤務スル官吏、同待遇者、囑託者、雇員及ビ傭人(以下職員ト謂フ)ニハ本則ニヨリ超過勤務手當ヲ支

第二復員局公報 第一六五號ノ... 昭和二十二年十二月二十七日 二五六ノ九

給スル但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハコレヲ支給シナイ
一俸給又ハ給料(報酬ヲ含ム以下コレニ同ジ)ノ支給ヲ受ケナイ者

二第二復員部内ノ勤務ヲ本務トシナイ者
三休職中ノ者
四外地又ハ外國ニアル未復員者

第二條 超過勤務手当ハコレヲ分ツテ時間外手当、深夜手当、日直手当及ビ宿直手当ノ四種トスル

第三條 時間外手当ハ職員ガソノ所轄長(コレニ準ズルモノヲ含ム以下コレニ同ジ)ノ命ニヨリ左ノ各號ノ一ニ該當スル勤務ニ服シタ場合(以下時間外勤務ト謂フ)ニオイテソノ超過勤務時間數ニ應ジコレヲ支給スル

一 大正十一年閣令第六號第一項ノ勤務時間(以下官廳勤務時間ト謂フ)ニヨツテ勤務スル場合

(イ) 四月一日カラ十月三十一日マデノ間ニオイテ退廳時刻(七月二十一日カラ八月三十一日マデノ間ニオイテハ土曜日ヲ除キ午後四時トスル)後午後五時マデ、十一月一日カラ三月三十一日マデノ間ニオイテ退廳時刻後午後六時マデ勤務シタ場合

(ロ) 四月一日カラ十月三十一日マデノ間ニオイテ午後五時以後十一月一日カラ三月三十一日マデノ間ニオイテ午後六時以後勤務シタ場合

二 休日(日曜日、明治六年太政官布告第二號ニ規定スル年始

年末ノ休暇日及ビ昭和二年勅令第二十五號ニ規定スル祭日及ビ祝日ノ休日ヲ謂フ以下コレニ同ジ)ニ勤務スル場合

第四條 時間外手当ノ額ハ勤務一時間當リノ給與額ノ十二割五分(前條第一號ノイノ場合ニアツテハ十割)ノ額ニ時間外勤務ノ時間數ヲ乘ジテ得タ額トスル

前項ノ勤務一時間當リノ給與額ハ左ニ掲ゲル給與ノ月額ノ合計額ヲ二〇〇ヲ以テ除シテ得タ額トスル

一 俸給、給料(日給ニアツテハソノ三十日分)

二 暫定加給及ビ同臨時増給

三 臨時勤務地手当ノ支給ヲ受ケル者ハ前二號ノ給與月額ノ合計額ニソノ勤務地ニツイテ定メラレタ臨時勤務地手当ノ支給割合ヲ乘ジテ得タ金額

四 臨時手当ノ支給ヲ受ケル者ハ前三號ノ月額ノ合計額ニソノ八分ノ一ヲ乘ジテ得タ金額

第五條 深夜手当ハ職員ガ所轄長ノ命ニヨリ午後十時カラ午前五時マデノ間ニオイテ勤務スル場合(以下深夜勤務ト謂フ)ニオイテソノ勤務時間數ニ應ジコレヲ支給スル

前項ノ深夜手当ノ額ハ前條第二項ノ勤務一時間當リノ給與額ノ二割五分ノ額ニ前項ノ勤務時間數ヲ乘ジテ得タ額トスル

職員ガ所轄長ノ命ニヨリ時間外勤務ニ服シ且ツソノ勤務ガ深夜勤務ニアタル場合ニオイテハソノ勤務ニツイテハ時間外手当ト深夜手当トハコレヲ併セ支給スル

第六條 日直手当ハ職員ガ所轄長ノ命ニヨリ休日ニ本務ニ服シ

ナイデソノ廳ニオイテ廳舎、設備、備品、書類等ノ保全、外部トノ連絡及ビ廳内ノ監視等ニ従事スル場合（以下日直勤務ト謂ウ）ニオイテソノ勤務日數ニ應ジコレヲ支給スル日直手当ノ額ハ一日ニツキ左ノ區分ニヨル

一特別地域（以下第二復員部内臨時勤務地手当支給規則第二條ニ規定スル地域ヲ單ニ特別地域、甲地域、乙地域ト謂ウ）ニアル廳ニ勤務スル者 六十五圓

二甲地域ニアル廳ニ勤務スル者 六十圓

三乙地域ニアル廳ニ勤務スル者 五十五圓

四丙地域（前各號ノ地域以外ノ地域ヲ謂ウ以下コレニ同ジ）ニアル廳ニ勤務スル者 五十圓

第七條 宿直手当ハ職員ガ所轄長ノ命ニヨリ本務ニ従事シナイデソノ廳舎ニ宿泊シテ廳舎、設備、備品、書類ノ保全、外部トノ連絡及ビ廳内ノ監視等ニ従事シタ場合ニ（以下宿直勤務ト謂ウ）オイテソノ勤務夜數ニ應ジコレヲ支給スル宿直手当ノ額ハ一夜ニツキ左ノ區分ニヨル

一特別地域ニアル廳ニ勤務スル者 五十二圓

二甲地域ニアル廳ニ勤務スル者 四十八圓

三乙地域ニアル廳ニ勤務スル者 四十四圓

四丙地域ニアル廳ニ勤務スル者 四十圓

第八條 超過勤務手当ハ月ノ一日ヨリ末日迄ノ時間外勤務時間數、深夜勤務時間數、日直勤務日數及ビ宿直勤務夜數ヲ締切計算シ翌月ノ俸給支給日（支給日ノ繰上グラレタ場合ハソノ繰上グラレタ日）ニコレヲ支給スル

第二復員局公報 第一六五號ノ五 昭和二十二年十二月二十七日

第九條 時間外勤務又ハ深夜勤務ノ時間數ノ締切計算ノ場合ニオイテ一時間ニ滿タナイ端數ガアルトキハ三十分以上ハコレヲ一時間ニ切上テ三十分未滿ハコレヲ切捨テ但シ勤務時間數ノ締切計算ハ手当支給割合ノ異ル毎ニコレヲ計算スルモノトスル

時間外手当又ハ深夜手当（一時間當リノ額ノ錢位未滿ノ端數ハコレヲ錢位ニ滿タシメル）

第十條 公務ニヨリ出張申ノ職員ニ對シテハ超過勤務手当ハコレヲ支給シナイ

第十一條 守衛、用務手、電信員、艦船乗員等デ直割ヲ定メテ深夜勤務、日直勤務又ハ宿直勤務ヲ本務トスル者並ビニ糧食ノ給與ヲ受ケル者ノ超過勤務手当ノ支給ニツイテハ本令ニヨラス別ニコレヲ定メル

附 則

本令ハ昭和二十三年一月一日カラコレヲ施行スル

第二復員部内職員給與規則第十三條ヲ削除シ昭和二十三年一月一日ヨリコレヲ施行スル

○ 雜 款

- 事務所名稱變更
- 島取縣民生部世話課第二復員科
- 島取市東町
- 島根縣民生部第二世話課
- 島根縣松江市朝日町松江驛前

三五六ノ一

0720